

新駅舎を紹介

観光協会

観光協会は、5月12日に現在のみのがわ会館から駅舎内に移転し、市内観光の発信を行います。



▲駅舎内のできる観光協会の正面ガラスのデザイン

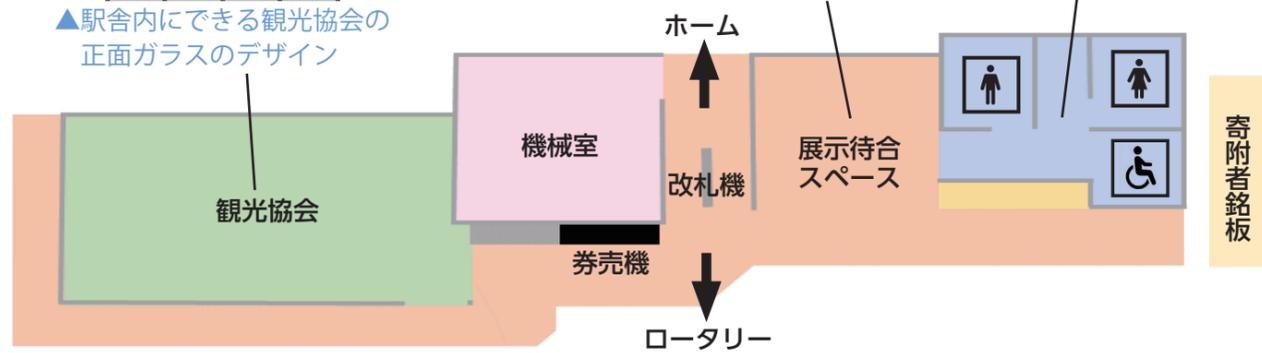
展示待合スペース

電車やバスの待合に利用いただけます。また、「三木金物」「酒米山田錦」「ゴルフ」をテーマとしたパネルの展示により、三木市の誇る3大地域資源を発信します。



市民トイレ

これまでは、上りホーム側にしかなかった市民トイレを下りホーム側(新駅舎内)にも設置しました。



🔍 かくれ三木をさがそう 🔍

新駅舎には、三木にちなんだものがいろんな場所にあります。どこにあるか探してみてください。

- ▼三木金物の名前などが入ったタイル
- ▼山田錦が記されたベンチ
- ▼染め形紙の柄をデザインした窓
- ▼市内初のカラーデザインマンホール蓋



新しくなった三木駅への思いを伺いました

観光協会を利用ください

新たなランドマークとなる三木駅に観光協会が移転でき、ありがとうございます。一目で観光協会がわかるように、正面のガラスにインフォメーションマークを活用しました。地元の方と協力し、市内外から来られるお客さまの立ち寄りスポットとして、情報を発信していきたいと思っています。



デザイン総選挙に投票

デザイン総選挙では、三木は歴史を大切にしているイメージがあったので旧駅舎・レトロ風に投票しました。選ばれたモダン風は白い目立つ建物で、三木が活性化の原点になるようなデザインだと思いました。友達や地域の方との交流の場としても三木駅を活用していきたいです。



募金活動を手伝いました

三木城下町まちづくり協議会が主催するイベント「レトロジ」で、テレビ番組と協力して募金ブースを設置しました。会場には、予想以上に人が集まり、協力したいという思いが伝わってきました。多くの方の気持ちで造った駅なので、愛着をもって大切にしてもらいたいと思います。三木城下町まちづくり協議会



みんなで選んだ 新しい三木駅舎が完成！

関(市)交通政策課



平成30年3月に火災にて焼失した神戸電鉄三木駅舎は再建にあたり、ふるさと納税などを通じた多くの皆さまのおかげで、3月28日に駅舎が完成しました。

令和2年に実施した「三木駅デザイン総選挙!!」では三木駅周辺の小中高の児童生徒をはじめとする皆さまから、総投票数5,520票をいただき、2,214票を獲得した「モダン風(斬新・現代風)」が選ばれました。

駅舎内には観光協会や展示待合スペース、市民トイレを設けています。白色をベースに青いラインが入り、すっきりとした印象としつつも、駅舎全体を包み込むような、弧を描いた大屋根が優しさを演出した外観となっています。

5月21日には路線バスやタクシー、一般車が利用できる駅前広場(ロータリー)が整備され、開通式が執り行われます。神戸電鉄粟生線の利用者数の増加や地域活性化につながることを期待しています。

●三木駅再生に寄せられた寄附金(令和4年3月24日現在)

皆さまからの温かいご支援に対して、心からお礼申し上げます。駅の東側には三木駅再生のために寄附していただいた多くの方のご芳名を記した「寄附者銘板」を設置しています。

・寄附金総額
1億4,639万円

【内訳】

三木市独自の寄附制度1,143万円、ふるさと納税1億3,496万円(返礼品などの経費を差し引いた後の金額。なお、返礼品などの経費が未確定のため、寄附額を1/2で算定)

右記寄附金のほか、「粟生線サポーターズくらぶ」への寄附金788万円については、神戸電鉄が三木駅の再生に充当されます。

